

第57回

## SCCJセミナー

新しい生活スタイルで求められる化粧品とは  
～ 激変する世界での化粧品の在り方を考える～

午前の部

10:35 総司会から注意事項アナウンス

10:40 開会の挨拶 セミナー委員長 早瀬 基

10:40 @cosmeからみるコロナ禍の美容意識の変化

株式会社アイスタイル 原田 彩子 氏  
西原 羽衣子 氏

10:40 11:40 コロナは生活者の化粧品購入に、どのような影響をもたらしたのか。化粧品への興味が20～40歳の女性が多く利用する、日本最大の化粧品・美容の総合サイト「@cosme」からは、市場データからは見えてこない生活者の気持ちを垣間見ることができる。いま人気の商品にみられる共通点や、商品を選ぶ際の想い、そして今後。約1,700万件に及ぶ@cosmeのクチコミや商品数34万点のデータベース、さらにユーザー調査の結果を用いて紹介する。

11:40 12:25 マスクの下のスキンケア

一丸ファルコス株式会社、岐阜薬科大学 特任教授  
アルナシリ イダマルゴダ 氏

COVID 19のパンデミックが始まって以来、マスクは、このウイルス性疾患から私たちの生命を守るための最も重要なツールだが、一方でマスクによる皮膚トラブルは皮膚科学の重要なトピックの一つとなっている。本講演では、一般的なスキンケアのアプローチを考える前に、一般市民から医療従事者まで、マスクによる皮膚トラブルに対して、日本や世界の皮膚科クリニックがどのようにアプローチしているかについて、世界各国の皮膚科医や化粧品科学者による主要な研究成果を紹介する。最後に、これらの有害な皮膚反応を克服するためのマスク下の予防的スキンケアの開発について述べる。

12:25 13:15 昼 休 憩

■ 日 時 2021年9月8日(水)  
10:35～18:00(入室開始10:20予定)

■ 方 法 オンライン開催  
(Zoomを利用したライブ配信)

■ 主 催 日本化粧品技術者会  
お問い合わせフォーム  
(<https://www.sccj-ifsc.com/contact>)

■ 参加費 会員/代理:13,000円  
一般:19,000円

■ 申込期間 2021年7月19日(月)～  
2021年8月24日(火)23時59分[締切厳守]  
[Web参加申し込み]

詳細⇒ <https://www.sccj-ifsc.com/event/detail/1034>

午後の部

13:15 14:00 コロナ前後で変化する化粧意識とそれに応じた基剤開発

株式会社資生堂 池田 智子 氏

13:15 14:00 コロナ禍で消費者の生活行動が変化することで化粧への意識も大きな変化が生じている。マスクによる肌荒れ対策としてスキンケアでのケアは怠らないものの、マスクへの付着を気にすることで口紅やファンデーション離れが顕著である。一方アイメイクでおしゃれを楽しむ傾向が見られる。またオンライン化が進む中、男性の化粧への関心は高まりつつある。この状況下、どのような基剤開発が求められているのか、その開発の一例を紹介する。

14:00 14:45 花王グループの社員を守る新型コロナ対策

花王プロフェッショナルサービス株式会社 大熊 康資 氏

14:00 14:45 新型コロナ発生に対して、花王は迅速に危機管理本部を立ち上げた。社員の安全・安心をはかるために、エビデンスに基づく対策実施を目的に対策チームを新設。職場ごとの対策、啓発情報を発信。特に店頭でのお客様との接客活動を行う化粧品美容部員の対策を最重要と位置づけ、きめ細かな対策を実施。感染予防対策の一例を紹介する。

14:45 14:55 休 憩

14:55 15:55 化粧品業界と「情報リテラシー」：情報の捉え方・扱い方・発し方を考える

明治大学 山本 輝太郎 先生

14:55 15:55 情報の海と化している現代社会において、よき市民生活を送るための「情報リテラシー」の向上が不可欠となっている。実際、いわゆるコロナ禍においてもさまざまな情報が跋扈し、それらの中には科学的根拠に乏しい「あやしい情報」も少なくない。サイエンスとアートの融合である化粧品業界においては、バランスを保ちながらそうした情報に接していく必要があるが、一方で自らがあやしい情報の発信源になってしまう懸念もある。そこで本講演では、広い意味での「情報」を中心テーマに据え、そうした情報リテラシー向上に関する知見について、講演者の研究テーマ(「疑似科学」「ニセ科学」的情報の吟味、判断およびそれに対する一般消費者のリテラシー研究)を踏まえながら具体的に解説していく。

15:55 16:40 ライオンの研究開発でのAI活用

ライオン株式会社 黒川 博史 氏

15:55 16:40 ライオンは「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」を経営ビジョンにライオンだからこぞできるヘルスケア、すなわち生活者の「より良い習慣づくり」の実現を目指している。その取り組みのひとつとして、デジタル技術を利用した業務変革(デジタルトランスフォーメーション:DX)に力を入れている。本講演では、ライオンの研究開発におけるAI活用の現状と成果、およびその課題解決に向けた考え方など取り組みの一部を紹介する。

16:40 16:45 閉会の挨拶 セミナー副委員長 前澤 大介

16:45 16:55 休 憩

16:55 18:00 フリーディスカッション

&lt;各講師とのオンライン質疑応答コーナー&gt;

\* 開始時間等は準備等の都合により変更される場合があります